

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【桜木中学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	R7年度さいたま市学習状況調査の結果、本校では「授業は自分に合った教え方や教材、学習時間になっているか」について、肯定的な回答が市平均を5p以上回り、個に応じた学習課題の設定がなされていることがわかる。また、「自分で学び方を考え、工夫して学習に取り組んでいるか」においても、市平均を5p以上回り、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢がみられる。一方で、知識・技能の定着状況には依然として生徒間の差が見られることから、既習事項の確認や繰り返し学習を進めて、基礎的・基本的な内容の定着を図る必要がある。今年度は、知識を概念的に理解することを重視し、生徒が主体的に知識・技能を獲得できる授業づくりを進めていく。また、「自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために工夫して発表しているか」については、肯定的な回答が市平均を0p以上回り、説明文や資料・グラフ等の特徴を捉え、言語やデータを用いて表現する活動の効果が顕著として表れている。さらに、「各教科や単元ごとと答をかくして自分の考えをまとめる活動」についても、市平均を5p以上回り、教科横断的に思考し表現する力が着実に育成されている。今年度も、各教科や総合的な学習の時間等において、根拠を明確にし、他者の考えと比較しながら分かりやすく伝える活動を継続し、表現力の向上を図っていく。
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①知識を概念的に理解することを重視し、生徒が主体的に知識・技能を獲得できる授業づくりを進めていくために、各授業において問題の答えを求めるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒(児童)が筋道を立てて説明する授業の実施。【各単元の中で1回以上】 ②各教科や総合的な学習の時間等において、根拠を明確にし、他者の考えと比較しながら分かりやすく伝える活動を継続し、表現力の向上を図っていくために、課題解決の過程における自分や友達との学びの深まりや疑問に思ったことや、自分の学び方についてを振り返ることができる時間の設定。【単元末】

⑤	年度末評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	調査結果分析(7月)
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(11~12月)
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(11月)

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
学力向上策の 見直し	中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)